

## 令和5年度第1回 旧国立駅舎運営連絡会（要旨）

日 時：令和5年7月28日（金）

場 所：旧国立駅舎展示室

出席委員：磯部委員、福住委員、藤本委員、宮崎委員、向井委員、鈴木委員、渡部委員  
落合委員、佐藤委員、長須賀委員、洪委員、中村委員

事務局：都市整備部 北村部長

国立駅周辺整備課 関野課長、藤堂係長、土崎主事、中島主事

道路交通課 和田係長

旧国立駅舎まち案内所スタッフ 磯貝チーフ

議事録（要旨）：

○事務局 定刻になりましたので、旧国立駅舎運営連絡会、令和5年度第1回を始めさせていただきます。開会のご挨拶を。鈴木会長。

○鈴木会長 旧駅舎連絡会の取りまとめをさせていただいております、一橋大学の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今日から2か年の第3期がこのメンバーでやるということで、新しいメンバーの皆さんもいらっしゃいますので、これまでやってきたことを確認しつつ、またこのグループでしっかりチームワークよくできるように、準備ができる第1回にできればいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局より各自の自己紹介があった。

○事務局 では、早速こちらの資料を御覧ください。おさらいのような形にもなる部分があるのですが、新しい方もいますので説明させていただきます。まず、旧国立駅舎は令和2年4月4日にまちの魅力発信拠点として稼働しており、現在4年目を迎えております。今回、旧国立駅舎運営連絡会の趣旨といたしましては、旧国立駅舎を新たに活用していくに当たり、その管理・運営等について幅広く意見交換を行うものです。いわゆる審議会や協議会とは違いまして、諮問・答申、採決のような形式は取っておりません。会全体としての意思表示も基本的には行いませんので、委員個人の意見交換の場というところを改めてご認識ください。委員の皆様から頂きましたご意見は我々参考にいたしまして、市の事業運営に活かしてまいります。旧国立駅舎や国立駅周辺がより素敵な場所となるよう、様々なご意見やアイデアを出し合っていただくよう位置づけております。旧国立駅舎の市の組織としては市の下にある都市整備部部長が北村になります。国立駅周辺整備課課長が関野です。その下に国立駅周辺整備担当と旧国立駅舎担当がございます。令和5年4月1日付で委嘱されました皆さんの一覧表になります。新しい委員の方が4名おります。今日、福住さんが、30分ほど遅れて後で来られるというところなのですが、皆さん簡単にこの場で一言ずつ自己紹介していただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いて各委員より自己紹介があった。

(自己紹介終了)

○事務局 ありがとうございます。では、資料のほうに戻っていただきまして、説明をしていきますので5ページ目になります。

事務局より資料に沿って運営連絡会の実績と今後の検討事項について説明

(説明終了)

○鈴木会長 ありがとうございます。多分、一回で飲み込めないことがたくさんあると思うのですが、最後にたくさん意見交換の時間を取りたいと思いますので、そのときに新しいこととか遠慮なく、つまり何やってきたのとか、そういうことはどんどん聞いていただければと思いますので、ひとまず先に進んでいいですか。

○事務局 現時点で何か疑問があれば受け取ります。ご質問あれば。大丈夫ですか。

続きまして、一応ここまで終わったところになります。こちらの資料、おなじみのレポートの形なのですが、毎回こういった形で利活用レポート出させていただいています。前回の連絡会から今回のときまで、今回は3月1日から6月30日までの期間をまとめたレポートになります。

事務局より資料に沿って「旧国立駅舎<利活用>レポートvol.14」に沿って説明があった。

(旧国立駅舎<利活用>レポートvol.14の報告終了)

○鈴木会長 ありがとうございます。盛りだくさんでしたけれども、何か聞きたいことある人いれば。どうでしょう。一応、この連絡会の1つの役割としては、この旧駅舎の利活用が簡単に言えばうまくいっているかというのを皆さんと意見交換しながら、よりよいものになるようにということを、皆さんにご意見いただくということがありまして、それでこれだけしっかり毎回どういう利活用をされたかという報告を用意していただいているという経緯があります。なので、この機会に報告についても気になるところとか気に入ったところとか。いかがでしょう。

○向井委員 向井です。お願いいたします。すみません、いろいろお話ありがとうございました。今会長おっしゃったうまくというのがあったと思うのですが、国立市としてそれはうまくいっているという評価をされていらっしゃるのでしょうか。率直に、単純にこれがいいとか悪いとか思ったわけではないのですが、行政として今現状どういう評価を出しているのでしょうか。

○事務局 当然いい面と悪い面があるのですが、今ご紹介した各イベントのほとんどは、プレイピアノデーとかは我々の主催ですが、「やりたい」と言ってこられる方々が主催するイベントです。そして、「それなりに様々なイベントをやっている」、「素敵なイベントに対しては当然評価されている」ところもあります。ただ、本来想定としては市が自主的にいろいろなイベントをやっていこうと考えていたところも実はあって、まだそこはできていないといった現状です。逆に言うと、持ってきていただいているイベントでそれなりになっているといったところがあります。

○向井委員 行政として自前でのイベントをもっとやろうと思っていただけたけれども、実はできていないと。

○事務局 そうですね。

○向井委員 そういうことですね。現状イベントの開催、多分年度で切っていらっしゃると思うのですが、今回36イベントでしたか。

○事務局 年度といいますか、3月1日から6月30日です。前回は3月末に連絡会があったので、

前回の報告が2月末までで、今回は6月末までです。

○向井委員 なるほど。その36件という件数自体が、恐らく行政としての目標設定があつて、今回36件という報告だったと思うのですけれども、それは目標を上回っているのでしょうか、下回っているのでしょうか。

○事務局 件数の目標値はありません。2ページ目のイベントの数え方ですが、件数としては我々が使用申請をいただいて承認している件数を数えています。ちょっとややこしいのが、例えば最後のほうに説明したJ:COMさんの撮影やSoftbankさんのスマホ教室などは、本当は月に何回もやっているわけですが、それを何月で1回という形でまとめて承認していたりするので、何回もやっているのに1件となります。また、くにたちピアノデーなどは3月25日、26日などはそのまま、そこでいろいろな方のコンサートとか演奏とかがある中で、それは1件と数えたりします。そのため、実際このページにあるスペース利活用率のほうが分かりやすいかもしれないです。通常の運営に加えた上で、どこかのスペースが使用されているといった率がこの82.8%ということです。これは裏を返すと、駅舎で本当に何もやっていないという期間は大体17%くらいということですが、それを良いとするか悪いとするかというのもあるのですけれども。実際何もしていない旧駅舎が良いという方も当然いらっしゃいます。

○向井委員 あんまり満足していないと。いっぱい質問してしまつて申しわけないのですが、まず僕から聞きたいのは、この82.8%というのはこれまでの推移からして上がったのですか、下がったのですか。

○事務局 ほぼ同じぐらいです。少しずつ増えている印象ではありますが。

○鈴木会長 これまでの報告では利用率に関しては、そんなに使われているのだという委員の方の受け止め方が多かった。件数は大きいのと小さいの、何日も使うやつとちょっとしか使わないやつと、同じ日なのに何件もあつたりします。多分、僕が代弁するのはあれですけれども、その経緯としては、どのぐらい何の目的に使うのかということ自体がすごく大きなコンセプトのところしか決められない段階でスタートしていて、丸3年たったということなので、そのあたりの感触を市の皆さんが確かめながら進めていくために、私たちを集めてくださっていると考えていただいて。だから、目標を達成したのかどうかという感じというよりは、このぐらいだったら、若干ファジーな感じで、市の皆さんが評価を確認できる場として私たちがいるという性格もあると教えていただけるといいかなと思います。でも僕が思うのは、今回はそういったずっと懸念になっていたのですけれども、若干統一性というか、来たものをやってもらう、来たものをやってもらうという感じが強くなっているような気は印象としてはしました。最初の頃の話ではもうちょっとイベント全体を限界はあるのだけれども、この時期はこんなことができるようにしたほうがいいのかとか、そういう色づけができるように企画を、全部企画を一緒にやるわけにもいかないのですけれども、アイデア出しとか、委員の人の主催するイベントがある時期と重なり、そのような感じで緩やかに駅舎というのはこういう場所だなというのが街行く人に何となく伝わるようなことの話もしてきて、そういう話をすると皆さん活発な意見交換をやってくださるので、例えば、実現したので言うところらの展覧会。前の資料です。展覧会の実績と書いていただきましたけど、この辺の旧駅舎を市として利活用することのイベントに併せて、委員の方のアイデアを使って生かしていただいて、小さくお手伝いするというので応援メッセージというのができ、このらくがきひろばというのは小さくなかったのですけれども、佐藤さんのアイデアであちらの壁にひたすら紙テープでと床はチョークで落書きしてもらうというのをやって、盛り上がり過ぎて

片づけるのが大変でしたが。なんてことをやりましたし、それぞれ多分イベントをやっていない方のほうが少ないのかな。それぞれの皆さんが相談を持ち込んで、ここで出た話題を踏まえてあれやってみようみたいな感じで、それぞれ個別に企画にさせていただいてきたみたいなこともよくありました。そんな感じで完全にしっかり調整してやるわけではないのだけれども、雰囲気としては一緒にやってみようみたいな感じで、3年ぐらいたったのですけれども、どの程度しっかりプロデュースしてやるのかというところはしっかり決めていないものだから、いつもこんなものでいいのだろうかとなってしまふというようなところが悩みだという感じがありました。

○向井委員 すみません、もう1点だけ。いろいろなイベントやっというのだけれども、どうしていききたいか、どういう課題があるかとか。僕も途中から入っているの、今日初めて入ると分からないと。どうしていききたいかあるのですか。そういうのがあってこういった集まりをつくっていらっというのかな。この場をどうしていききたいかみたいな、どういうミッションというか。

○事務局 イベントに限ったことではないですが、もうちょっと季節感を出すとか、あとこれまでの連絡会で話があったように、いろいろなジャンルのイベントをやっというはありますが、まだやられてきていないイベントジャンルもあるよねというご指摘も頂いています。実現可能かどうかは別ですが、例えば鈴木先生からはスポーツ系のイベントとか、洪さんからは子ども系のイベントがちょっと少なめだとか、そういったような話があって、これまでやれていないジャンルのイベントを、受け身だけでは来ないものを、市で誘致や主催することができたらなどは考えおります。ただ、受付しているイベントだけで結構手一杯なところもあり、事実スケジュールも結構埋まってしまうのでやれていないという現状です。

○向井委員 そもそもイベントをやる目的は行政としてどうやって捉えていらっというのですか。まちの魅力創出という。例えばまちの集客を上げていくとか、そういった目的なのか。

○鈴木会長 駅舎が何であるのかというところをすっ飛ばしてしまったからいけないです。今の話のレイヤーがかみ合っていないで、どういうイベントをやりたいという話ではなくて、この旧駅舎は市としてどういうものとして位置づけているのかというところが向井さんの質問だった。そうするとそこ説明しなくてはいけないのだけれど、結構時間かかるのです。僕の理解は、イベントをやりたいのではないのですよ。多分すごく変わったというか、ユニークなものだと思うのです。建物なので、施設なので貸館業務があるのだけれども、でもオープンなスペースでもあるので、公共空間でもあって、誰かが占有するわけにもいかない、まちのシンボルでもあるので、入り口で待ち合わせとかいうことも。駅から降りてきたら入り口にあるから、まち全体にイメージが広がっていくのがシンボルでもあるというようなことで、しっかりした目的を定めてしまうのもまたやばいところもある中で、どうマネージするかという、そこは難しいところだと思っています。本当は、市としては設置目的とかそのあたりのことはそこらへんを踏まえていただくと。私のほうはイメージ先行なので分かりやすくなるかなとは思っています。

○事務局 今鈴木先生がおっしゃっているとおりなのだけれども、旧国立駅舎が再築されて、イベントの利用率が8割ぐらい。それが果たして良いのかどうかというところも実はあって、旧国立駅舎の広間でやはり何もしないで休息をしたいという方もやはりいっぱいいるわけですよ。かといってイベントで盛り上がりたいたいという方もいらっという。実際にこの旧国立駅舎というのは国立の玄関口であり、目的としては、回遊性の創出というのが実は一番の大きな目的です。イベントをいっぱいここで

やって、皆さんここで集まって楽しかったねと言ってここでにぎわいが終わっては駄目なのです。ここから、先ほど交わったように、谷保ですとか矢川ですとか、さらに南部のほうといったところに波及をしていく、いわゆるハブですよ。ハブというような機能を駅舎としては持つ。ですので、実際にイベントが多ければ多いほどいいのかというわけではないので、今後こういったイベントをやっていくか、来た方のイベントをやるというのももちろん大事ですけれども、来た方にどうやって国立のほかの地域に回ってもらうか、国立を知ってもらうか、そういったことが、まち案内とかもありますので、そういったところが旧国立駅舎の大きな役割なのかなと感じているのです。

○鈴木会長 ありがとうございます。ほかにございますか。藤本さん。

○藤本委員 イベントを3年間やって、当初からまずそもそもどんなことできるのだろうみたいなものを探るといってこのレポート見てなるほどというところがあって、何となく傾向が見えてくるのではないのかとやっていて、やはり当初から言っていたように音楽とかの使われ方というのが多いかなというのが見えてきたと思うので、そういう意味ではこのイベントとしての使い方というのは見えてきて、大分こういうことができるのだなというのが周知されてきたというのも何となく傾向としては見えてきたのかなと思うので、あと私たちのほうはこれを読み解いた中でおっしゃったようにこれをどうつなげていくか、ほかの地域と市内とどうつなげていくかみたいなのを考え、よく言っているのですけれども、その駅舎だけではなくて、これを起点として何かできるようなことをやはり考えていくというのが、次に来ているのかなという感じがするので、そういった中ではこのレポートで毎回どんなことできるのだろうというのは、やっているのだろうなというのは確認していくのは必要かなと思いますけれども、でも、やはり使われてきているかなという気はします。

○事務局 そうですね。駅舎オープンしたときがちょうどコロナの時期と重なり、オープニングイベントも中止になって、2か月間ぐらいか閉館したという苦い経験もあって、そのときからイベントを始めていたのですが、当時のイベントはほとんどが展示イベントでした。実際に皆さんしゃべらないで見るだけというイベントです。ここ3年で大分イベントの傾向が変わってきました。展示のイベントだけではなくて、一番やはり多いのは音楽のイベントが大分増えてきた。あとはワークショップ、皆さんがわいわいやるようなワークショップというのも多くなってきたかなというところはあります。そういった傾向も今後アフターコロナではないですけれども、コロナが終わった後どういった使い方ができるのかというのも連絡会の委員さんと、また、意見交換をさせていただきたいなと思っています。

○鈴木会長 あと1時間ぐらいなのですけれども、50分、これだけでも。

○洪委員 1個だけ質問してもいいですか。

○鈴木会長 はい。

○洪委員 今お話があったように、旧国立駅舎オープンしたときはコロナ禍だったので、文化財としての制限はありますが、コロナによる制限はすごく大きかったと思うのです。5月から第5類になって、いろいろと感染症対策が解除されてきたわけです。私一番気になっているのは、ちょっとすみません、自分が一利用者というので分からないので教えてほしいのですけれども、この建物内外の飲食利用が今はどうなっているのかということと、あとそういう飲食に関するイベントの希望とか来ていますかという現状だけもらっていいですか。

○鈴木会長 飲食をするということですか。それとも売ることでしょうか。

○洪委員 まず1個は、ここで飲み食いができるのかということ。

○事務局 この展示室とまち案内所は飲食禁止です。広間はオーケーです。

○洪委員 例えばそういう飲食を提供する、販売を含めてのイベントは今どうですか。してもよいのですか。

○事務局 まだまとめきれておらず整理しているところです。

○洪委員 これからですか。

○事務局 コロナのときと今とで相談件数が増えたかという、体感として、ガッと増えたとは感じないです。

○洪委員 ありがとうございます。

○渡部委員 今飲食というお話で、ちょっと来週お隣の広場で盆踊りがあると思うのですけれども、あのようなスペースを借りるときの関連性とか、こちらのイベントとすり合わせというか、盆踊りというのは多分土日で音とかすぐ出るではないですか。そういったときのこのイベントとのすり合わせみたいなことというのは、ここの委員とか市の方が決められたりするのですか。

○事務局 そうですね、すり合わせはします。というか、来週の盆踊りでは旧駅舎の敷地も一部貸しますので、一体的な活用です。隣の広場もそういったお話の一次窓口のようにはなっており、連携はしています。

○渡部委員 多分すぐ暑くなりそうなので、こっちに避難してくる人とかいっぱい来ると思うのですけれども、そういったときに見回りというか、例えば熱中症になりかけているような人が1人で座られていて、気づかなかったときに駅の方とかでお声がけしたりとかというのは、そういうのというのはあるのかなと、今毎日暑いので。

○事務局 当然この施設内で何か具合が悪い方がいたらイベントとか関係なく、当然何度か私も救急車呼んだことがありますし、盆踊りに関して言えば一応救護テントと休憩場所もつくるということだったので、そこは確認しています。

○渡部委員 ありがとうございます。

○福住委員 39件のイベントのうち、今もともと駅舎のコンセプトである回遊性を拾っていくというか、そういうものにつながったイベントというのはあるのですか。

○鈴木会長 あると思うのですけれども。回遊性。

○事務局 正直、そのときだけのにぎわいで終わるイベントもあります。また、設置目的には、回遊性だけではなく「文化芸術の普及」であったり、「文化財のことを後世に伝える」であったりがあるので、回遊性が全てというわけではありませんが、例えば「くにたちピアノデー」は旭通りとの連携があり、旭通りのほうにもフリーピアノが何台か置かれたり、各地でライブがあり、そういったところで旧駅舎から旭通りまで回遊性が生まれています。

○鈴木会長 ハルウララはそのつもりだったけれども。

○事務局 そうですね。ですけれども、立川も含めた桜ウォーキングというのは実は久しぶりだったのですが、雨天で中止になってしまいました。

○中村委員 イベントしかけるほうとしても、自分も前ここで円形公園のイベントやって、郷土館はこっちの駅のほうの人に知られていないので、そんな博物館あると言われるので、知ってもらいたいという意味でもやったのですけれども、あまりつながらなかったという苦い経験もあって、イベントとしてしかけたほうも回遊性を狙っているけれども、それがうまくいかないこともあるという。それを市のほうの主催ではない人が判断するというのもなかなか難しいところがあるかなと思

ます。

○鈴木会長 だから第2期の令和4年度の目標が国立と谷保、矢川方面をつなぐと書いてあるのだけれども、7ページまで行くと、第4期に谷保、矢川との連携になっているのです。とても先延ばしになっている。ずっと悩みなのですよね。駅舎で、駅周辺で何かやったのが市全域に回遊性をというのはやりたいことなのだけれども、渡部さんおっしゃるとおりなかなか。でも、集まってここでやって、それをまちにつないでいていただいたりとか、ちょっとずつは……。できるものとか、できると分かっているものが引き続き行われたという印象があるのと、だからフレッシュさというか、回遊性とかということにダイレクトに狙ったような企画はそんなになかったかもしれないですね。この4か月は。

○洪委員 恒例になっているイベントというのは増えているのだと思うのですがけれども、その分同じ人たちがよく使うようになってきているなどは、前はもう少し見たことない人がいたりとか、私たちが入っているというのが報告の際にあるなと思ったりしたのですけれど。

○鈴木会長 結構心配になったのは、一橋大学が4月に出てくるようになって、部活の新歓とかで使うのがノウハウになっていいのかどうか。そうだったかどうか分かりませんよ。分かりませんが。

○長須賀委員 うちは国立駅舎で新歓とかはする気は全くなくて。

○鈴木会長 もちろんそうだ。大学生が一橋大学と、結構一橋祭のKODAIRA祭のときに使うというのは、コロナだったのでキャンパスを使えない中で結構工夫してやっていて、それは好評いただいているみたいなので、何とか一橋大学の学生さんも結構貢献してくれている演奏会とかがあるので。

○長須賀委員 結局、一橋の学生たちも国立駅舎を通過して一橋大学に通っているわけではないですか。だから、その経路の1つの地点としてこの駅舎が入って、目に入るからここでやっているという思考なのではないかなと思います。だから、別に彼らは正門でやってもいいとは思いますが、ただ貸してくれるからここでやっているという感じだと思います。

○鈴木会長 ちょっとひっそりと学内調査をしましょう。お陰様で結構意見交換できたかと思うのですが、今回第1回なのでどう始めようかというのが難しかった中であと40分なので、1つは、今分かってきたのはやはり新しい皆さん含めて旧駅舎というのはどういう目的で、市としてはどういうふうに生かしていきたいかということをしっかり私たちの復習を含めてやるということ、だからこの連絡会は改めてどういう役割を担うのかということを確認するというのは必要だなと思った次第です。それを第2回のときに多分しっかりもう一回やるのかなとは思っていますが、今日あと40分ありまして、一応この後意見交換したいのですが、ちょっと確認したいのは、まだ話していただけていないのが。

順番としてはまず磯貝さん。次第に従って。

○事務局 口頭での報告になりますので。

○鈴木会長 では、磯貝さんお願いします。

○事務局 口頭での報告になりますので簡単に報告させていただきます。旧国立駅舎まち案内所案内スタッフ磯貝と申します。よろしくお願ひいたします。今日初めての方もいらっしゃるということで、ちょっと3分ほど案内所について説明させていただきたいと思ひます。まち案内所に関しましては、

市のほうからNPO法人国立市観光まちづくり協会に委託を受けております。観光まちづくり協会を今配っていただいたのですけれども、皆さんご存じでいらっしゃいますでしょうか。

○—— 知っています。

○事務局 もう十分知っていただいているようですが、簡単に説明しますと、くにたちナビの運営ですとか桜ウォーキング、ライトアップ、国立散歩など、ウォーキングイベントなどの実施を行っています。会員制になっておりますので、実は個人の方でも入ることができます。ご興味のある方は私のほうに一声かけていただければと思います。こちらで働いている案内スタッフのほうも観まちの所属となっております、今10名です。午前2人、午後2人の4人体制でシフトを組んでいます。スタッフは20代の一橋の学生から60代後半の定年退職された方まで、間に子育て世代がいたりダブルワークをしているスタッフがいたり、大体週3日程度でシフトを回しているところです。自負としては、コロナ禍で過ごしたこの3年間一度も臨時休業することなく3年半稼働させてきたというところで、今非常にほっとしているところです。

まち案内所の役割といたしましては、1つは当然まちの案内所。市の交通情報やお店、市内イベントなどの案内業務です。中には、国立に引っ越してきたいのだけれどもこのまちどうですかと言ってこられる方ですとか、ウォーキング、スポーツのおすすめありますかという質問をされる方もいます。2つ目は、アンテナショップとしてまちのお店の商品の展示や販売を行っています。国立自体の商品も半分ほどあるのですけれども、現在22店舗の64点の商品を取り扱っています。昨年度の人気商品の食品と物販のベスト5をこちらにちょっと掲示させていただきましたので、後ほど帰りにでも見ていただければと思います。3年半稼働しまして、最初の2年間はコロナということもあってなかなか表立ってPRもできなかったのですけれども、昨年徐々にイベントも解除されてきましたので、大体の1年のサイクルのようなものが今回分かったかなと思っています。一応、1年間でやはり大きな集客要因は、先ほどの入館者数にも出ていましたけれども、春の桜シーズンと秋の天下市、そして日にちが分かれるので目立たないのですけれども、意外と受験シーズンもいらっしゃる方が多いです。ここはやはり文教都市国立の大きなポイントなのかなと思います。その合間にLINKくにたちでしたり、旭通りの歩行者天国やジューンフェスタですとか、あとはイチョウ並木、イルミネーションなど、数々のイベントがありますので、それに合わせて入館者数や案内所の売上げなどが変動していています。通年ではマンホールカードを配置していますのでマンホールカードは郷土文化館にも配布していますので、恐らく両方相互PRということでこちらからも1,000ぐらい送り込んでいるのではないかなと。そのときに親子が来たら必ずパンフレットを渡すようにしましたので、私の体感でも五、六十組ぐらい送り込んでいる。あと、今後の課題としまして、やはり今までコロナ禍でなかなかPRができなかったので、今後は市内の事業者さんへ向けた旧駅舎及びまち案内所の活用方法のPR、例えばチラシを置いたりサイネージを活用したり、イベントを利用したりということをもうちょっとPRしていきたいなと思っています。また、海外とか市外へ向けては当然国立というまちのPRを行っていきたいと思っていますので、SNSなどを活用しながら今後やっていければなと思っています。この間も実はイタリアからのお客様がご家族でいらっしゃいまして、クリイミーマミというアニメがイタリアで放送されているのですが、実は国立がモデルになって、この赤い三角屋根の駅舎もアニメの中に出てくるということで、15歳のコスプレイヤーの女の子が大変感動していらして、必死に翻訳ソフトを使いながらイタリア語で、インスタでもつながったいたりとかして紹介させていただいたりもしました。



今後も、これからどんどん周辺も変わっていきますので、ぜひ皆様からのご意見やアイデアをお聞かせいただきながら一緒になって進めていきたいと思っていますので、どうぞご利用をよろしく願いいたします。以上です。

○鈴木会長 ありがとうございます。回遊性も生まれるということに大変重要な役割を担っていただいているということで。次は和田さんから市民まつりにおける交通量調査、これは昨年の市民まつりのときにロータリーを通行止めにしてやった。お祭りとしては大盛り上がりだったのだけれども、交通の状況はそのときにどうなったかと、その報告をしてくださいます。よろしく願いします。

事務局より市民まつりにおける交通状況、今後の駅前広場整備スケジュール、工事中の仮囲いデザイン、東側広場ミストシャワー設置について報告があった。

続いてグループディスカッションの時間を約10分間設けた。

○鈴木会長 特に結論を出す会ではないのですが、全員とお話しできなかったこともありますので、各グループで今日あまりしゃべっていない人ちょうど1人ずついる感じだから、今日の感想で構いませんので、願いします。

○宮崎委員 これからの抱負は、もっとやはり国立を知ってもらうために、先ほど私も1班で話したのですけれども、交通手段というか、自転車ですごく行くことが多いので、ウォーキングイベントはあるけれども、自転車とか、この間息子がキックボードで私は自転車で行ったらキックボードで行くとまた全然違うスピードで行くので、何かまちを回遊するのにそういう乗り物も少し焦点当てて、何かデータ取っていても面白いかなと思うので、それにはテーマが必要だよねという話で、今そんな話をしていました。以上です。

○鈴木会長 ありがとうございます。では、落合さん。

○落合委員 向井さんがデベロッパー側のまちづくりのお仕事を本職でされていて、その視点からですけれども、今Softbankとかカーブスとかそういうのがあって、まちの回遊性で言えばカーブスは回遊していると思うという意見があって、商業利用的なものは今あまり起きていないけれども、それも今後できていったらいいねという話がありました。あと、個人的には今年11月にまた旧国立駅舎でイベントをやりたいなと思っているので、また相談させてください。

○鈴木会長 願いします。ここはどうだろう。渡部さん。

○渡部委員 今日初めて参加させていただきました。ありがとうございます。今短い時間でしたけれども、私も前回の議事録を市役所の方に頂いていたので読ませていただきながら、黒板をぜひ使って何か新しいことができるのではないかと。短い時間でしたけれどもちょっと広がるような話のきっかけができたので、とても楽しかったです。ありがとうございます。

○鈴木会長 ありがとうございます。磯部さんお願いします。

○磯部委員 ありがとうございます。もう具体的に言ってしまうと、前年度からの提案でイベントの傾向はもう見えたと思なして、制御して優先順位をつけて、力を入れるべきだと。それで中でもいろいろ出ましたけれども回遊性ということがどうしても必要なもので、必要というかそうやっていこうと前から言っているので、より多くの人と地域をつなげるということを具体的にやっていく。大事なものは国立市内に住む人も忘れてはいけない。先ほど宮崎さんからキックボード話が出ましたけれども、それに加えて何かもうちょっと大きなイベントを。今やっている大きなイベントがないときに狙って

つくってやっていくというのが、例えばこの間も申し上げましたけれども、国立駅の駅長が国立生まれで国立育ちというところもあるので、JRとか、あとバスとかタクシーとか空港とか、ああいうものを巻き込んで人が回れるように、お年寄りも含めていろいろな人が回れるような形とかにして、アプローチをなるべく早くしたほうがいいのではないかと考えています。それに伴って次期の開催時期ですけど、できるだけ早くできるように行っていただきたいと思います。以上です。

○鈴木会長 ありがとうございます。さすが磯部さんで、まとめをしていただきました。ありがとうございました。次、第2回はちょっと早めにやりましょう。それで、今日まだ全然話し足りないですし、今年度もうかなり進んできてしまったので、今年度何かやりたいということについても早い動き出しが必要だと思いますので、そうなるように事務局とお話しておきたいと思います。このメンバーで、今日全員そろったのですよね。

○事務局 全員そろいました。ありがとうございます。

○鈴木会長 やっていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。今日は本当にありがとうございました。

— 了 —